

本作業で使用するもの

同梱物		本体の付属品	
コレット (1)	グリース (1)	スパナ (1)*	検出ピン (1)

※本体には、どちらかの形状のスパナを付属しています。

交換方法

警告 コレットは、しっかりと固定する。固定後は、スパナなどの取り忘れがないか確認する。さもないと、それらが勢いよくはじけ飛び、けがをすることがあります。

注意 加工直後はスピンドルユニットやその周辺に触れない。やけどをすることがあります。

注意 メンテナンスは必ず加工用工具とワークを取り外した状態で行う。刃先に触れるとけがをすることがあります。

※機種によって画像が異なります。(本書は DWX-52DCi の画像を使用しています)

1. コレットを取り外す。

1 VPanel のメイン画面で操作する機体を選択する。
複数台接続している場合は、MACHINE STATUS の ■ をクリックして機体を切り替えます。

2 ① 歯車アイコンをクリックする。
「設定」画面が表示されます。

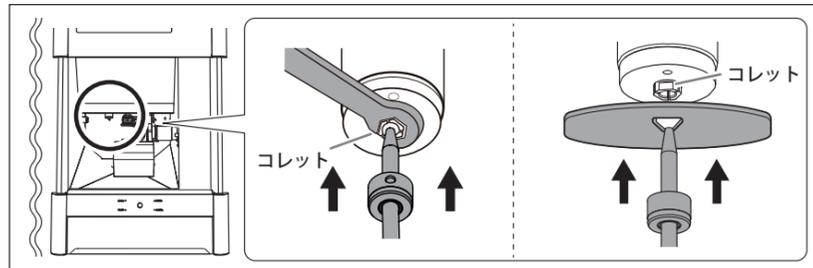
2 ① 「メンテナンス」タブをクリックする。
② [コレット開] をクリックする。

3 [OK] をクリックする。
コレットが開きます。(機種によってはスピンドルが移動します。)

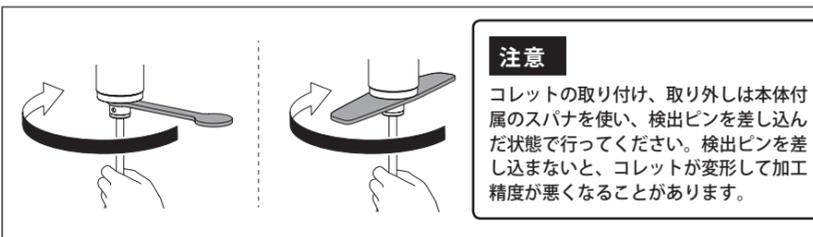
4 [OK] をクリックする。

- 5** フロントカバーを開ける。
- 6** ① コレットにスパナを合わせる。
② 検出ピンをコレットに差し込む。
検出ピンが入らない場合は、① - ④ の操作をもう一度行ってください。

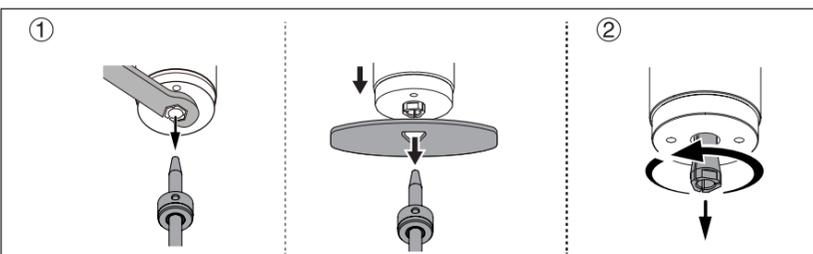
※本体に付属しているスパナの形状と同じイラストの手順で作業してください。



- 7** 検出ピンを手で支えながら、スパナでコレットを緩める。



- 8** ① 検出ピンとスパナを取り外す。
② コレットを矢印の方向に回して取り外す。

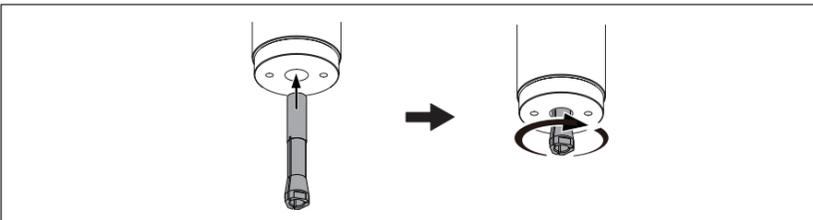


2. コレットを取り付ける。

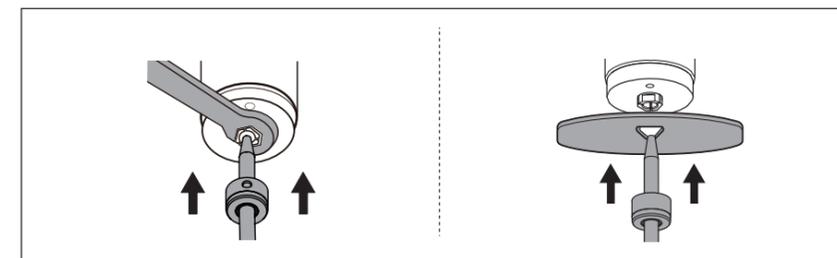
- 1** 交換するコレットに薄くグリースを塗る。



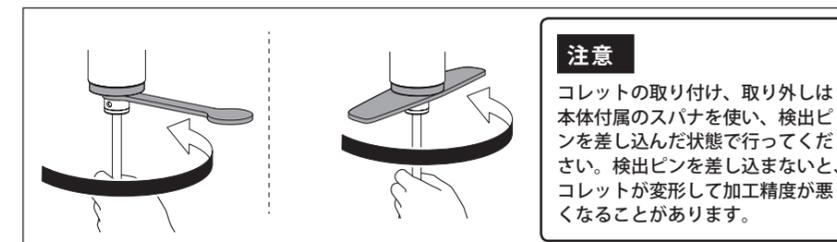
- 2** コレットを差し込み、矢印の方向に回して取り付ける。
強く締め付けないように取り付けます。



- 3** ① コレットにスパナを合わせる。
② 検出ピンをコレットに差し込む。



- 4** 検出ピンを手で支えながら、スパナでコレットを締め付ける。
スパナとスピンドルユニット先端 (下図の色がついた部分) が同時に回る状態になったら、締め付けは十分です。

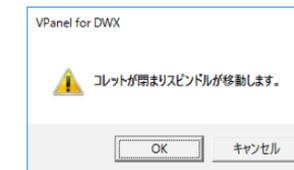


- 5** 検出ピンとスパナを取り外し、フロントカバーを閉める。

- 6** コレットを閉じる。
① VPanel を表示し、歯車アイコンをクリックする。
「設定」画面が表示されます。
② 「メンテナンス」タブの [コレット閉] をクリックする。



- 7** [OK] をクリックする。
コレットが閉じます。(機種によってはスピンドルユニットが移動します。)



作業完了のメッセージが表示されれば終了です。

3. 自動補正を行う。

本体付属のマニュアルにしたがって自動補正を行ってください。自動補正が終了したら、コレットの交換は終了です。